

コラム 「寄付について思うこと」

マザーリング&ライフマネジメント研究所

たけながかずこ

マザーリングでは「3つの生き方提案」を提唱してきました。どんなライフステージでも、仕事・家族（愛）そして社会貢献（夢）を欠かさないこと。社会貢献は、寄付や行動や専門的情報提供など、その時々で自分にあった方法を選択していいのです。

自分で稼いだお金の中から寄付をする

その中で、私がいつでもこだわってきたのは、「自分で稼いだお金の中から寄付をする」という思考でいること。つまり、毎月の収入の使い方を「家族のため」「自分の仕事のため」「社会貢献（夢）のため」と3分割して考え、実行してきました。金額も様々です。

30代、“マザーリングの会”というボランティアグループの育成に尽力していたころは、社会貢献（夢）の方に比重がたって、家族や仕事のための支出を縮小するだけで足りず、食い込んでしまい、赤字を抱えて苦労した時期もありました。そんな、アンバランスになるような、失敗を重ねながら、ようやく、最近では、バランス感覚が身につき、少額ずつでも収入の中から、確実に仕事と家族の経費を確保した上で、これは寄付分と分けて、毎月納得のいくところに寄付できるようになりました

脱専業主婦思考の勧め

この“自分の稼いだお金の中から数%を必ず寄付する”という考えに私がこだわったのは、脱専業主婦思考の勧めでもあったのです。よく、専業主婦は教会の献金ですら、後ろめたい気持ちになるという話を聞きます。そんな時、いつも私は『主婦としての務めを果たしていることに対し、自分自身に給料を支払えばいいのです。その自分の給料（たとえ夫の給料であっても、堂々とその中から自分の給料分を分割する）分の中から、さらに「家族のため」「仕事（将来のための勉強など）のため」「社会貢献（夢）のため」に3分割して考えていけばいいのでは？』と奨励してきました。

納得できる寄付の形を

今年は東日本大震災もあり、日々、あちこちで寄付活動が行われています。スーパーに行っても、レストランに行っても、寄付金の箱が置いてありますし、「利益の一部が寄付になる」という商品もたくさん置いてあります。どのような活動にどのくらいを寄付するのか、その選択は自由です。私の場合は、

- ・ スーパーやレストランでは、いただいたお釣りの端数を寄付金箱へ
- ・ 所属教会と教会ぐるみの支援団体には定期的に一定金額を。
- ・ 自分が応援したい人の活動を支えるための寄付は、自分の代わりに活動して下さる方へという気持ちで、できる時にできる範囲で寄付活動を継続しています。

自分が活動することも大事。でもそれができなくても活動する人を支えることで、自分の思いも広げられると思うのです。私が私であることはすでに多くの人によって支えられています。自分と家族、自分と社会、その“支え、支えられる関係性”を意識して“お役にたてる自分であろう”とすることは人間として美しく生きる秘訣だと思います。

寄付は、自分自身で考えて、選択して、金額も本業や自分の生活を脅かさないバランスを考えることが大事です。私の場合それがほんとうに身についたのは50歳過ぎてからでした。(それまでには数々の失敗もありました… まさに失敗は成功の母ですね。笑)

何にせよ「自分で稼いだお金を3分割して、社会貢献(夢)を継続する」という思考でいることは、私が仕事を継続する大きな原動力になったことは間違いありません。これからも、多くの人を支える=多くの思いを表現できるようになるために、本業をがんばって稼がなくては!と思うと、気合いが入ります!

